

グリーンエコシティ岩見沢

発行：ごみのよりよい始末を進める市民会議

はじめに ～代表委員長より～

ごみのよりよい始末を進める市民会議は、3条西4丁目にある「ごみ・環境総合案内所グリーンエコ」を拠点として活動を始め5年の月日が過ぎようとしています。

この1年間の市民会議の活動としては、7月の環境フェスタ開催をはじめとし、ふるさと百餅まつりやまちなか朝市でのごみ減量・分別・再利用の啓発を実施しました。そのほか、岩見沢神社秋祭りではごみ集積所で利用者一人ひとりに分別徹底への協力を呼び掛けました。各町内会のごみステーションの見守りパトロールも実施しております。

また、小学生や中学生の廃棄物への関心度も高まっていることも実感しています。ごみ処理施設「いわ☆ぴか」には多くの学校が見学に来ていただいていますし、環境美化標語の募集には、およそ900点にのぼる作品が応募されました。優劣をつけがたい素晴らしい作品ばかりで、標語選考員としましても感銘を受けたところです。

グリーンエコでの資源回収にあっても、地域住民の皆様の高い意識のもと、回収量は高い水準で推移しております。今後も市民会議代表委員は、より一層の活動強化に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。(H)



市民会議の活動紹介

環境フェスタ 2016～7月2日(土)

【環境フェスタ開催に携わって】環境フェスタは、私たち市民会議の活動の中で最も大きなイベントです。午前10時30分に春木委員長の挨拶から始まりました。市民会議の代表委員も、それぞれ役割を分担して、来場者の皆様を「おもてなし」します。

私は、会場の入り口で皆さんにアンケートをお渡ししたり、回答をいただいたお礼に花苗をお渡ししたりしました。お子様向けのポップコーンづくりでは、慣れない機械操作に戸惑いながらもなんとか作ることができ、手渡すときには大変喜んでもらえました。

家庭菜園で野菜作りなどをしている方には、栗沢のクラインガルテンで生ごみから作った堆肥(1kg入)を配りました。ごみの減量にも様々な方法がありますが、生ごみの有効利用もそのひとつです。(S)



環境フェスタ 2016~7月2日(土)

【制服のリユース】市内の中学校の制服のリユースコーナーを実施しました。今回が初めての試みです。ある日、知人が「使わなくなった中学校の制服を、どなたか譲ってもらえないかしら」と話しているのを聞き、同じように考えている人がほかにもいるかもしれないし、卒業等で不要になった制服の処分ができずにいる人がいるのではないかと考えました。それなら環境フェスタで希望者に譲ることで、リユースの推進とごみの減量にもつながります。

市の広報や昨年の会報誌でお知らせをしましたが、”洗濯済みのものを”とお願いをしましたので集まるか心配しましたが、35着もお持ちいただきました。

環境フェスタ当日の譲渡コーナーでは、果たして来ていただけるか不安でしたが、フタを開けてみると非常に喜ばれ、私たちもびっくりする位でした。サイズを確認し



てお持ちになる方、親子でおいでになり試着をしてお持ちになる方、2年後を見越して、と様々です。会場でこのコーナーを見てから、自宅から制服をお持ち下さった方もいました。アンケート結果でも、ご好評をいただきました。お母さま方からもまた来年もやってほしいと要望をいただいています。お譲り下さった皆様、ありがとうございました。(H、A)

【大型リサイクル品販売・抽選会】環境フェスタで最も人気のあるイベントが、リサイクル自転車の抽選会です。ボランティアスタッフの協力で大型ごみとして排出された自転車からまだ使える部品を取り出し、新たな1台の自転車を組み立てます。1台2千円から4千円ほどで購入できます。希望者が多いので抽選販売となりますが、全40台の自転車が完売しました。自転車のほかにも家具のリサイクル品の販売もおこないました。



岩見沢農業高校の学生さんが育てたアサガオの苗も配布し、大好評でした。



▶ 抽選会の様子



先進地視察研修～10月18日(火)

えこりん村（恵庭市）

えこりん村では生ごみ堆肥化及びバイオガスの取組を行なっていました。生ごみの堆肥化については、えこりん村敷地内のレストランから出る調理残さや食べ残し等を大型の電動生ごみ処理機により堆肥化し、契約農場等で利用しているそうです。また、処理後にバイオガスプラントという施設で液肥を作り、えこりん村の羊が食べる草を育てています。



生ごみの多くはレストランや食品加工場から排出されています。現在食品廃棄物は大きな問題として認識されており、えこりん村やびっくりドンキーを運営する株式会社アレフでは、会社を挙げてこの問題に向き合うとともに、社会貢献に真剣に取り組んでいました。(I)

北広島環境市民の会（北広島市）

北広島市で活動している、「北広島環境市民の会」を訪ね、活動状況について伺ってきました。同会は2004年に発足した組織で、ごみの減量、リサイクルに関する知識・技術の普及、市内の環境問題に関わるネットワークづくりに取り組んでいる団体です。

北広島環境市民の会は、環境に関心を持つ市民が自主的に参加し、年会費も負担するというかたちで拡大してきたそうです。任期も決まっていません。われわれ市民会議は、地区協推薦で選任され、2年ごとに改選しています。ただ、組織の形態に違いはあっても、「ごみの減量・分別の徹底」という目標は同じであると感じました。



▲生ごみ堆肥の試験のための農園

活動内容を伺っていて特に感じたことは、小学生に対しての環境教育活動を進めていることです。夏休みに環境見学会と題して様々な施設を見学したり、ごみになるものを使って工作教室を実施したりしています。私たち市民会議も岩見沢市と協働して、まちの未来を担う子供たちに対しての環境教育を充実させる必要があると思います。北広島環境市民の会は、ごみのよりよい始末を進める市民会議が将来進むべき方向のひとつかもしれません。(K)

生ごみ堆肥化

* 生ごみ堆肥化講座 *

コンポストやダンボールコンポストを使用した生ごみ堆肥化講座を、クリーンエコスタッフの協力のもと開催しました。環境フェスタでも午前・午後の2度開催し、来場者の皆様から多くの参加をいただき、関心の高さを感じました。

クリーンエコでの講座は、今後も毎月1回を目標に開催していきます。堆肥化を始めるには丁度良い季節になります。皆様のご参加をお待ちしております。(M)



次回 生ごみ堆肥化講座開催日

3月23日(木) 午後1時半~3時

定員: 20名 参加無料

参加申込先: クリーンエコ (☎31-1153)

* 生ごみ堆肥化体験談 *

生ごみの分別や堆肥化の相談を受けてお話しする中で、私たちも一緒に勉強しています。以前は私も生ごみは燃やせるごみとして出していましたが、現在は堆肥化しています。

知識のない頃に屋外にコンポストを置き、野菜くずや魚の骨などを入れたところ、悪臭や害虫の発生に悩まされました。堆肥化講座を受けて、基材(ピートモスともみ殻くん炭の混合物)を混ぜ込むことを知り、教わった通りにやると臭いも虫も落ち着きました。

菜園は化学肥料ばかり使っていると土は固くなり、病気もつきやすくなります。生ごみ堆肥を使うと土は柔らかくなり、甘みの強い野菜ができるようになった気がします。スイカを作りましたが、本当に美味しいものができました。生ごみの減量ができて環境にもやさしく畑にも良い、生ごみ堆肥化を始めて本当に良かったです。(S)

* 堆肥化新情報 *

~土のう袋でらくらく攪拌~



ダンボールコンポストは、好気性微生物の働きにより堆肥化を行なっています。そのため通気性の確保と水分をうまく逃がしてやることが重要です。この2点においてダンボール箱が好都合なわけですが、難点もあります。箱の中をかき混ぜる「攪拌(かくはん)」を毎日する必要があるのです。

そこでひとつ良い方法をご提案します。土のう袋を使うとこの攪拌が簡単にできるので、土のう袋に生ごみと基材を入れておき、ダンボールに入れておきます。攪拌する時には袋ごと取り出して、床の上を適当に転がすだけ。土のう袋はホームセンターなどで安価で購入できます。現在堆肥化に取り組んでいる皆さんも是非お試しあれ。(K)

ごみの減量・分別啓発活動

岩見沢神社秋季祭典（9月14日～16日）

秋のお祭りには多くの飲食店が軒を連ね、多数の来場者が訪れます。その場で食べたり飲んだりするものがほとんどなので、多くのごみが出されます。会場内のごみ集積所前に市民会議の代表委員が立ち、ごみを捨てに来た人に分別の徹底を呼び掛けました。

驚いたことに、お祭り会場の地面にはほとんどごみが落ちていません。さらに、ごみを捨てに来る学生さんが皆さん分別を守ってくれます。呼び掛ける側としてもとても気持ちのいいものです。小さい頃から分別の大切さを学ぶことが大事だと思います。（H、Y）



ふるさと百餅まつり（9月18日）

晴天の続いていた空が百餅まつり当日は曇りとなり、過ごしやすい日和となりました。その会場を中心に「生ごみの減量に取り組みましょう」、「生ごみのダイエットをしましょう」と声をかけながらチラシ入りのティッシュを手渡し、協力を呼びかけました。また、同日開催の『消費生活展』でも、パネル展示等を通してごみの分別徹底や減量をPRしました。（M）



まちなか朝市（10月1日）

4条西2丁目のぷらっとパークで数回にわたり開催されている、『まちなか朝市』の会場にスペースをお借りして、市民会議の活動やクリーンエコをPRしたり、生ごみの減量をお願いしました。皆様の関心も高く、いろいろとご質問を受けながら、私達も勉強になるところがありました。（H、Y）



クリーンエコについて

ごみのよりよい始末を進める市民会議の代表委員 34 名は地区協より推薦され、「クリーンエコ」を活動拠点に、市の職員の方と一緒に 1 日 2 名が交代で市民の皆様からのごみに関する疑問、相談にお答えしています。

また、クリーンエコでは 16 種類の資源物を受け入れているほか、コンポストをお気軽に始められるよう、ダンボールでできたコンポストのキットと基材を販売しています。



資源回収受入品目

- 小型家電
- 乾電池
- 蛍光管
- 古布
- 廃食用油
- 古紙類
- びん（無色・茶色・その他の色）
- 缶（アルミ・スチール）
- ペットボトル
- 割りばし
- 紙パック
- 生ごみ
- 生ごみ堆肥

◎ご利用案内

開所時間：午前 10 時～午後 5 時

開所日：火曜日～日曜日（月・祝休）

問合先：☎31-1153

市民会議では、中学校の制服の交換会を企画しています。卒業した・サイズが合わなくなったなどの理由により不要になった制服がございましたらぜひお譲りください。

対象：岩見沢市内の中学校の制服（男女どちらのものでも可）

※洗濯済みのものをお願いいたします。また、お預かりの際に学校名をお伺いいたします。

受付期間：平成 29 年 3 月 1 日～6 月 30 日

受付場所：クリーンエコ（3 西 4） 午前 10 時～午後 5 時（月・祝休）

★お預かりの際、汚れや傷みの程度によってはお断りする場合がございます。ご了承ください。

★集まった制服にご希望のものがございましたら、4 月 9 日（日）までは随時お譲りします。

それ以降に集まったものは、環境フェスタでの譲渡を予定しています。

編集後記



「クリーンエコシティ岩見沢」第 5 号を発行できました。今回は、女性 4 名が編集委員になってもらい編集いたしました。発行にご協力いただいた方々に感謝いたします。

ごみのよりよい始末を進める市民会議

事務局：市役所廃棄物対策課 ☎23-4111(内線 214)